一学期の振り返り

今年度、本校は開校 12年目を迎え、これまで築き上げてきた実績を基に、「Change:変化への対応・踏襲にとらわれない柔軟性」「Challenge: 創造性を豊かにした新しい挑戦」をスローガンとして、教育活動を展開しています。

今年度、地域や外部の意見を基に学校経営計画の重点項目として「人権に配慮した児童・生徒指導の徹底」「学びの連続性を重視したキャリア教育の推進」「デジタル等を活用した教職員の授業力及び専門性の向上」「外部人材活用による教育課程の活性化」「保護者や地域の意見や要望に応えていく姿勢及び情報発信の充実」に取り組んでいます。

また、昨年度に引き続き、児童・生徒が充実した教育活動に取り組めるように、地域の企業と連携し、より良い環境の中での体育発表会、水泳学習の実施を進めてきました。

①キャリア教育の推進・進路に関する連携





キャリア教育推進の一環として外部と の連携を強化し、進路指導や保護者へ の進路支援に取り組んでいます。6 月 日、水元小合学園進路保護者会に参加 しました。(写真左)

7月10日・11日の2日間で進路先見学会を実施しました。「江東園ケアセンターつばき」を見学し、多くの保護者の方に御参加いただきました。

また、8月27日、今年度新たな取組として、N部門中学部生徒のうち希望者はジブラルタ生命での現場実習を実施します。

②デジタル等を活用した教職員研修と授業の様子

【ICT支援員によるデジタル活用の基礎講義】



GIGAスクール端末やスマートスクール端末の活用について、指導者として必要なスキルを学ぶ機会や、ICT支援員と直接、教材作成や授業での活用について相談しながら、授業を実施しています。

【デジタルを利用した授業】





指導者として授業での活用する力の育成と同時に、 児童・生徒が授業で活用していくことを合わせ、授業力 及び専門性の向上を目指しています。

また、デジタルだけでなくリアルとの融合を目指して研鑽しています。

③社会資源(施設・外部人材)活用による教育課程の活性化

【江戸川区総合体育館を利用(N中学部)江戸川区と連携して実施】









江戸川区と相談し、N部門中学部では、より 広い運動環境として江戸川区総合体育館を 利用し、体育発表会を実施しました。

また、パラスポーツの啓発として、体育館のロビースペースの一角にボッチャの体験コーナーを設置し、地域の方や本校生徒の御家族、御兄弟に体験していただきました。

【丸の内 Shallwe コンサート東京国際フォーラム (N中学部)三菱地所株式会社様と連携して実施】

7月 14 日、三菱地所株式会社 様と連携し、丸の内 ShallWe コンサートを実施しました。東京 国際フォーラムD 7ホールを会 場に、NHK交響楽団のヴァイ オリン、コントラバス、ピアノ、 打楽器の方に来ていただき、 ラシックやポップミュージック、鹿本学園の校歌などを演ら していただきました。美しいた を味わうことができました。 お土産もいただきました。12月 には本校にて「ShallWe コンサート」を開催していただく予定 です。







④情報発信の充実、地域との連携・外部支援

【アプリケーションの活用とホームページでの発信】





【放課後等デイサービス連絡会】



【医療的ケア事業所連絡会】



放課後等デイサービス事業所連絡会や医療的ケアに係る事業所連絡会を実施し、学校の取り組みや実施内容について、地域、関係機関と情報を共有しました。児童・生徒に関係する機関が共通認識をもつことで、スムーズな引き渡しや入学後、卒業後の円滑な医療的ケアの実施につなげていきたいと考えています。

【特別支援教育のセンター的機能】

本校は、センター的機能の役割として、近隣の小中学校へ行き、コーディネーターが巡回指導や研修会を 実施しています。特別な支援を要する児童・生徒が地域で豊かに暮らせるよう特別支援の知識・ノウハウを 共有し、「誰も取り残さず、全ての子供たちの可能性を引き出す学び」を地域全体で支えていきます。 1 学期間の相談等件数を下記の表に示しております。

主な支援先

令和7年7月18日 現在

	団体	実施者	日時	参加者数
1	江戸川区	コーディネーター	5月 9日(金)	100名
	コーディネーター研修			
2	江戸川区立春江中学校 理解推進授業	コーディネーター	5月14日(水)	139名
3	江戸川区立春江中学校 校内研修会	コーディネーター	5月14日(水)	23名
4	江戸川区 特別支援教育推進研修	コーディネーター	5月23日 (月)	24名
5	慶応義塾大学 小児看護学演習	校長	6月24日 (火)	100名
				計 386名